

HIV 患者にみられる非硬変性門脈圧亢進症

研究分担者 江口 晋（長崎大学大学院移植・消化器外科教授）

研究要旨

本邦では血液製剤による HIV 感染が社会問題となっているが、90%以上の症例が HCV も重複感染しており、肝炎関連での死亡割合が近年増加している。HIV/HCV 重複感染患者30例の肝機能検査を施行したところ、Child-A の症例が大半であるにも関わらず、CT や内視鏡検査で門脈圧亢進症の所見が強い症例が多いことが明らかとなった。HCV 単独感染とは明らかに異なる病態を呈しており、今後肝移植の適応等も別個に検討する必要があると思われた。

研究協力者

高槻 光寿（長崎大学大学院 移植・消化器外科）
曾山 明彦（長崎大学大学院 移植・消化器外科）

（倫理面への配慮）

研究に当たっては倫理面に十分配慮し、長崎大学病院での倫理委員会の承認を得た。

A. 研究目的

血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の中には、C型肝炎関連の肝疾患や ART 療法の副作用による肝障害により肝移植でしか救命できない症例が存在するが、その実態は明らかでない。実際に肝移植の適応となる患者がどの程度存在するのか、また、同患者群に特徴的な病態を把握するため、肝機能をスクリーニングすることを目的とした。

B. 研究方法

薬害による HIV/HCV 重複感染患者のうち、社会福祉法人はばたき福祉事業団の管理下にある症例で同意を得られた患者を対象に全国より HIV/HCV 重複感染患者を受け入れ、肝機能検査（血算、凝固能、生化学検査、ICG 15分値、アシアロ肝シンチ）、腫瘍マーカー（AFP、PIVKA-II）、HCV-RNA、また、画像診断として腹部造影 CT、さらに内視鏡検査で食道静脈瘤の有無をチェックした。

C. 研究結果

30例中27例（90%）が Child-A であり、黄疸や腹水を認めることなく肝機能良好であると判断された。しかし、CT 検査では21例（70%）が肝炎もしくは肝硬変の所見であり、17例（57%）が脾腫を認めた。また、内視鏡検査で8例（26%）に食道静脈瘤を認め、うち3例が RC sign 陽性であった。総合的に「みかけの肝機能は良好であるが、潜在的に門脈圧亢進症の程度が強い肝障害が多くみられる」という結果であった。この結果を受けてエイズ診療拠点病院である国立国際医療研究センター（ACC）、横浜市立市民病院、国立病院機構大阪医療センター、国立病院機構九州医療センターの4施設の Child-A の症例146例の予後を調査したところ、門脈圧亢進症の間接的指標である血小板数 $15万/\mu L$ 以下の症例は有意に予後不良であった。

D. 考 察

HIVがART療法で制御可能となった現在、HIV/HCV重複感染患者の生命予後を規定するのはHCVによる肝障害および肝細胞癌である。本研究により、おそらくART療法に伴う非硬変性門脈圧亢進症合併による肝不全症例が想像以上に多い可能性がある。HCV単独感染の症例と比較し肝細胞障害は軽度であるものの門脈圧亢進症が強く、Child-Aであっても血小板低値である症例は実際に予後不良であることが明らかとなったため、今後病態を明らかにしていくとともに、同患者群への肝移植適応を別個に検討する必要があると思われる。

E. 結 論

HIV/HCV重複感染患者では、みかけの肝機能は良好であるにも関わらず、門脈圧亢進症の所見が強い症例が多く存在する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) Eguchi S, Soyama A, Hidaka M, Takatsuki

M, Muraoka I, Tomonaga T, Kanematsu T.
Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus coinfection with special reference to hemophiliac recipients in Japan. Surg Today.
2011;41:1325-31.

2) 高槻光寿、江口 晋、兼松隆之
生体肝移植における門脈血行異常
日本門脈圧亢進症学会雑誌 2011;17:6.

2. 学会発表

1) 高槻光寿、江口 晋、日高匡章、曾山明彦、朝長哲生、村岡いづみ、黒木 保、足立智彦、金高賢悟、兼松隆之. HIV/HCV重複感染患者の死因：肝移植の適応とタイミングに関する考察. 第47回日本肝臓学会
2011.6.2-3. 東京

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

特発性門脈圧亢進症と診断されていた Budd-Chiari 症候群の 1 例

研究分担者 吉田 寛（日本医科大学多摩永山病院外科）

研究要旨

Budd-Chiari 症候群は肝静脈の主幹部あるいは肝部下大静脈の閉塞や狭窄により門脈圧亢進症に至る症候群と定義される。多くは慢性の経過をとるが、急性閉塞や狭窄にて発症する場合もある。原因不明の一次性と原因の明らかである二次性とがあり、原因として肝癌、転移性肝腫瘍、うっ血性心疾患などがある。今回我々は、他院にて特発性門脈圧亢進症としてフォローアップされていた胃静脈瘤を合併した Budd-Chiari 症候群の 1 例を経験したので、若干の文献的考察を含め報告する。

A. はじめに

Budd-Chiari 症候群は肝静脈の主幹部あるいは肝部下大静脈の閉塞や狭窄により門脈圧亢進症に至る症候群と定義される。多くは慢性の経過をとるが、急性閉塞や狭窄にて発症する場合もある。原因不明の一次性と原因の明らかである二次性とがあり、原因として肝癌、転移性肝腫瘍、うっ血性心疾患などがある。今回我々は、他院にて特発性門脈圧亢進症としてフォローアップされていた胃静脈瘤を合併した Budd-Chiari 症候群の 1 例を経験したので、若干の文献的考察を含め報告する。

B. 症 例

症例：49歳女性。

主訴：なし。

現病歴：以前より肝の変形を指摘されていた。2006年より近医にて特発性門脈圧亢進症、胃静脈瘤の診断にてフォローアップされていた。今回、上部消化管内視鏡検査にて胃静脈瘤の増大を認めたため、精査加療目的にて紹介となる。

既往歴：2008年、下咽頭癌に対し咽頭摘出術、永

久気管孔造設術を施行。

入院時現症：眼瞼結膜に軽度の貧血を認めた。胸腹部所見に特記すべき事なく、四肢に浮腫も認めなかった。

血液検査所見：血液検査にて汎血球減少を認めたが、肝機能や凝固因子に異常は認めなかった。また ICG 15分値3.8%と正常であった。

上部消化管内視鏡検査所見：食道静脈瘤は認めなかったが、Lgcf, Cb, F2, RC0 の胃静脈瘤を認めた (Fig. 1)。

腹部 CT 検査所見：右、中、左肝静脈の閉塞を認めた。IVC の左側に流出する Spiegel 葉の太い静脈が主な drainage vein で、右下肝静脈も開存していた。それに伴い後区域の一部と尾状葉、特に Spiegel 葉が著明に腫大し、門脈は腹側へ偏位していた (Fig. 2: 右①, 中②, 左③肝静脈の閉塞a)、尾状葉の腫大と腹側に圧排された門脈④b)、太い尾状葉の drainage vein ⑤、Segment6 の門脈 ⑥ と drainage vein⑦ c)d)。

経過：以上より胃静脈瘤を合併した Budd-Chiari 症候群と診断した。明らかな肝機能障害は認めず経過観察可能と判断したが、強い希望により胃静脈瘤に対する治療のみを行う方針となった。

血管造影所見：下大静脈造影にて閉塞は認められ

ず、肝静脈閉塞型と診断した(Fig. 3)。バルーン閉塞下逆行性経静脈的シャント塞栓術を施行し、門脈圧減圧目的に部分脾動脈塞栓術を併施した。

C. 考 察

Budd-Chiari 症候群は人口100万人あたり2.4人の有病率であり、男性にやや多い。本症例は高度の肝変形により特発性門脈圧亢進症と診断されていた。門脈圧亢進症患者の中で、本症例のように血行動態の詳細な検討が不十分な症例では、Budd-Chiari 症候群と診断されずに経過観察されている症例もある可能性がある。実際、筆者は他疾患として経過観察されていた Budd-Chiari 症候群を数例経験している。

D. 結 語

Budd-Chiari 症候群は稀な疾患ではあるが門脈圧亢進症患者を診察する場合、本疾患も念頭に入れておくべきである。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Tajiri T, Yoshida H, Obara K, Onji M, Kage M, Kitano S, Kokudo N, Kokubu S, Sakaida I, Sata M, Tajiri H, Tsukada K, Nonami T, Hashizume M, Hirota S, Murashima N, Moriyasu F, Saigenji K, Makuuchi H, Oho K, Yoshida T, Suzuki H, Hasumi A, Okita K, Futagawa S, Idezuki Y. General Rules for Recording Endoscopic Findings of Esophagogastric Varices (The 2nd Edition). *Digestive Endoscopy* 2010 22; 1-9
- 2) Yoshida H, Mamada Y, Taniai N. et al. Shunting and nonshunting procedures for the treatment of esophageal varices in patients with idiopathic portal hypertension.

Hepatogastroenterol 2010 57: 1139-1144

- 3) Kanda T, Ishibashi O, Kawahigashi Y, Mishima T, Takuji K, Mizuguchi Y, Shimizu T, Arima Y, Yokomuro S, Yoshida H, Tajiri T, Uchida E, Takizawa T. Identification of Obstructive Jaundice-related MicroRNAs in Mouse Liver. *Hepatogastroenterol* 2010 57: 1013-1023
- 4) Mizuguchi Y, Mishima T, Yokomuro S, Arima Y, Kawahigashi Y, Shigehara K, Kanda T, Yoshida H, Uchida E, Tajiri T, Takizawa T. Sequencing and Bioinformatics-Based Analyses of the microRNA Transcriptome in Hepatitis B-Related Hepatocellular Carcinoma. *PLoS One* 2011 6: e15304
- 5) Kikuchi Y, Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Mineta S, Yoshioka M, Hirakata A, Kawano Y, Ueda J, Uchida E. Huge caudate lobe of the liver due to Budd-Chiari syndrome. *J Nippon Med Sch* 2010 77: 328-332
- 6) Tani A, Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Kawano Y, Uchida E. Extrahepatic portal venous obstruction due to a giant hepatic hemangioma associated with Kasabach-Merritt syndrome. *J Nippon Med Sch* 2010 77: 269-272
- 7) Shigehara K, Yokomuro S, Ishibashi O, Arima Y, Mizuguchi Y, Kawahigashi Y, Kanda T, Akagi I, Tajiri T, Yoshida H, Uchida E, Takizawa T. Real-time PCR-based microRNAome of human bile detects miR-9 as a potential diagnostic biomarker for biliary tract cancer. *PLoS One* 2011 6: e23584
- 8) Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Yoshioka M, Hirakata A, Kawano Y, Mizuguchi Y, Shimizu T, Ueda J, Uchida E. Treatment modalities for bleeding esophagogastric varices. *J Nippon Med Sch* (in press)

2. 学会発表

- 1) Yoshida H. General Rules for Recording Endoscopic Findings of Esophagogastric Varices in Japan. Symposium on Gastrointestinal Endoscopy (Jakarta) 2010.12.4
- 2) Yoshida H. Management and Endoscopic Treatment for Bleeding Esophagogastric Varices in Japan Symposium on Gastrointestinal Endoscopy (Jakarta) 2010.12.5
- 3) Yoshida H, Mamada Y, Tani N, Mineta S, Yoshioka M, Hirakata A, Kawano Y, Uchida E. Shunting and nonshunting procedures for the treatment of esophageal varices in

patients with idiopathic portal hypertension. ISW (Yokohama) 2011.8.29.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし



Fig. 1

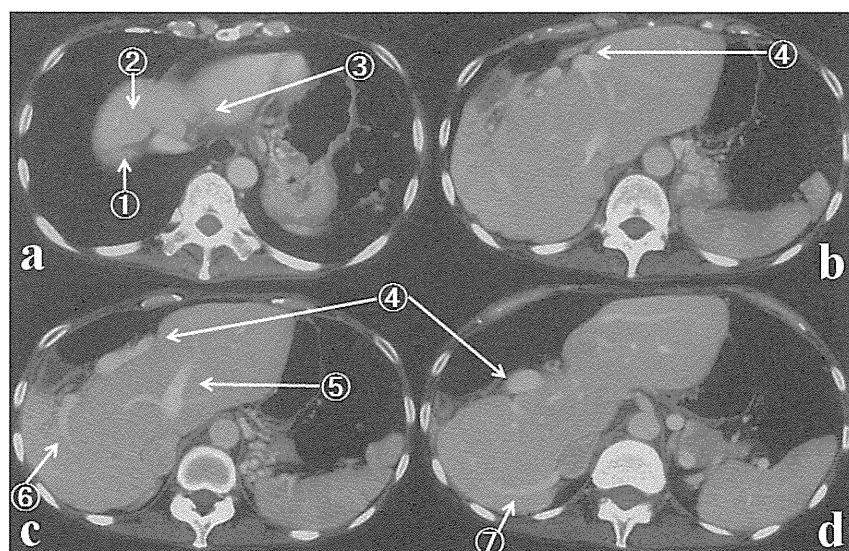


Fig. 2



Fig. 3

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
田上 和夫 橋爪 誠	肝硬変における脾摘と部分的脾動脈寒栓術 (PSE)	沖永 功太	脾臓基礎と臨床	へるす出版	東京	2011	212-216
石崎 陽一、 川崎 誠治	生体肝移植	菅野健太郎、 上西 紀夫、 今廻 道夫	消化器疾患最新の治療 2011-2012	南江堂	東京	2011	359-62
石崎 陽一、 川崎 誠治	Small for size graftを用いた生体肝移植	戸田剛太郎	先端医療シリーズ42 消化器疾患の最新医療	先端医療技術研究所	東京	2011	233-2-5
石崎 陽一、 川崎 誠治	肝移植の現況		Annual Review 消化器2012	中外医学社	東京	2011 (in press)	
石崎 陽一、 川崎 誠治	過小グラフト症候群	北島 政樹	肝移植フォーラム	先端医学社	東京	2011 (in press)	
馬場 俊之	肝臓・胆嚢・膵臓の画像診断および内視鏡検査	井廻 道夫 菅原 スミ	成人看護学5 消化器	マカルフレンド社	東京	2011	99-121
小嶋 哲人	先天性凝固阻止因子欠乏症 (antithrombin, protein C, protein S欠損症)	日本血栓止血学会編集	わかりやすい血栓と止血の臨床	南江堂	東京	2011	107-109
中山 享之、 小嶋 哲人	ワルファリンの薬効評価 V抗血栓療法の薬効評価は？	後藤信哉編	-そこが知りたい抗血栓療法-	メジカルビュー社	東京	2011	122-128
鈴木 伸明、 小嶋 哲人	先天性血栓性素因III. 血小板・凝固線溶系疾患	小松則夫/片山直之/富山佳昭：編	「専門医のための薬物療法Q&A：血液」	中外医学社	東京	2011	379-387
緒方俊郎 上野隆登 奥田康司 佐藤寿洋 塩田浩二 御鍵和弘 安永昌史 熊本正史 佐田通夫 鹿毛政義 木下寿文 青柳成明	肝硬変症による門脈圧亢進症	編集： 沖永 功太	脾臓基礎と臨床	へるす出版		2011	169-177
Fujita F, Eguchi S, Tajima Y, Kanematsu T.	Liver : Nonanatomical Resection.		Minimally Invasive Surgical Oncology	ヘルス出版		2011	263-271
吉田 寛	特発性門脈圧亢進症	沖永 功太			東京	2011	159-164

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
福井 博	腹水	折田 義正 和泉 徹 石川 三衛	バソプレシンと受容体拮抗-その基礎と臨床-	メデイカルレビュー社	大阪	2011	131-140
福井 博	肝腎症候群	西口 修平	肝硬変のマネジメント	医薬ジャーナル社	大阪	2011	137-145
福井 博	肝線維化の機序 解明と制御	戸田剛太郎 井廻 道夫 幕内 雅俊 白鳥 敬子	消化器疾患の最新の治療	先端医療技術研究所	東京	2011	34-37
小原 勝敏	胃・食道静脈瘤	菅野健太郎 ・上西紀夫 ・井廻道夫 編集	2011-2012	南江堂	東京	2011	103-108
小原 勝敏	肝硬変合併症の診断と治療について	日本消化器病学会編集	患者さんと家族のための肝硬変ガイドブック	南江堂	東京	2011	34-41
小原 勝敏	肝硬変患者における食道・胃静脈瘤破裂の救急対応	藤田 直孝 企画	緊急時に迷わない！消化器症状への緊急対応	羊土社	東京	2011	82-90

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshida K, Hirokawa T, Moriyasu F, Liu L, Liu GJ, Yamada M, Imai Y	Arterial-phase contrast-enhanced ultrasonography for evaluating anti-angiogenesis	World J Gastroenterol	17(8)	1045-1050	2011
Sugimoto K, Moriyasu F, Shiraishi J, Yamada M, Imai Y	A phantom study comparing ultrasound-guided liver tumor puncture using new real-time 3D ultrasound and conventional 2D ultrasound	AJR Am J Roentgenol	196(6)	753-757	2011
Saito K, Moriyasu F, Sugimoto K, Nishio R, Saguchi T, Nagao T, Taira J, Akata S, Tokuyue K	Diagnostic efficacy of gadoxetic acid-enhanced MRI for hepatocellular carcinoma and dysplastic nodule	World J Gastroenterol:	17(30)	3503-3509	2011
Miyata Y, Miyahara T, Moriyasu F	Decreased accumulation of ultrasound contrast in the liver of nonalcoholic steatohepatitis rat model	World J Gastroenterol	17(8)	1045-1050	2011
Takara K, Saito K, Kusama H, Tsuchida A, Aoki T, Nagao T, Imai Y, Taira J, Moriyasu F, Tokuyue K.	Gd-EOB-DTPA-enhanced MR Imaging Findings of Hepatocellular Adenoma: Correlation with Pathological Findings.	World J Radiol.	Dec 28;3(12)	298-305	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Takara K, Saito K, Kusama H, Tsuchida A, Aoki T, Nagao T, Imai Y, Taira J, <u>Moriyasu F</u> , Tokuyue K.	Gd-EOB-DTPA-enhanced MR Imaging Findings of Hepatocellular Adenoma: Correlation with Pathological Findings.	World J Radiol.	Dec 28;3(12)	298-305	2011
Kurihara T, Itoi T, Sofuni A, Itokawa F, Tsuchiya T, Ishii K, Tsuji S, Ikeuchi N, <u>Moriyasu F</u> .	Novel Protective Lead Shield and Pulse Fluoroscopy Can Reduce Radiation Exposure during the ERCP Procedure.	Hepatogastroenterology.	Dec 6;59	115-116	2011
Ishii K, Itoi T, Sofuni A, Itokawa F, Tsuchiya T, Kurihara T, Tsuji S, Ikeuchi N, Umeda J, <u>Moriyasu F</u> .	Novel Biopsy Forceps for Diagnosis of Biliary Tract Diseases during Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography: A Prospective Comparative Study with 90° Adjustable and Conventional Biopsy Forceps.	Hepatogastroenterology.	Nov 17;59	117	2011
Itoi T, Isayama H, Sofuni A, Itokawa F, Tamura M, Watanabe Y, <u>Moriyasu F</u> , Kahaleh M, Habib N, Nagao T, Yokoyama T, Kasuya K, Kawakami H.	Evaluation of effects of a novel endoscopically applied radiofrequency ablation biliary catheter using an ex-vivo pig liver.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Oct 25		2011
Tsuji S, Sofuni A, <u>Moriyasu F</u> , Itokawa F, Ishii K, Kurihara T, Tsuchiya T, Ikeuchi N, Umeda J, Tanaka R, Itoi T.	Contrast-Enhanced Ultrasonography in the Diagnosis of Gallbladder Disease.	Hepatogastroenterology.	Aug 31;59	114	2011
Watanabe S, Enomoto N, Koike K, Izumi N, Takikawa H, Hashimoto E, <u>Moriyasu F</u> , Kumada H, Imawari M; PERFECT Study Group.	Cancer preventive effect of pegylated interferon α -2b plus ribavirin in a real-life clinical setting in Japan: PERFECT interim analysis.	Hepatol Res.	Oct;41(10)	955-964	2011
Nakamura I, Tanaka Y, Ochiai K, <u>Moriyasu F</u> , Mizokami M, Imawari M.	Clarification of interspousal hepatitis C virus infection in acute hepatitis C patients by molecular evolutionary analyses: Consideration on sexual and non-sexual transmission between spouses.	Hepatol Res.	Sep;41(9)	838-45	2011
Itoi T, Isayama H, Sofuni A, Itokawa F, Kurihara T, Tsuchiya T, Tsuji S, Ishii K, Ikeuchi N, Tanaka R, Umeda J, <u>Moriyasu F</u> , Kawakami H.	Stent selection and tips on placement technique of EUS-guided biliary drainage: transduodenal and transgastric stenting.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Sep;18(5)	664-72.	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ishii K, Itoi T, Sofuni A, Itokawa F, Tsuchiya T, Kurihara T, Tsuji S, Ikeuchi N, Umeda J, Moriyasu F, Tsuchida A.	Endoscopic removal and trimming of distal self-expandable metallic biliary stents.	World J Gastroenterol.	Jun 7;17(21)	2652-7.	2011
Itokawa F, Itoi T, Sofuni A, Kurihara T, Tsuchiya T, Ishii K, Tsuji S, Ikeuchi N, Umeda J, Tanaka R, Yokoyama N, Moriyasu F, Kasuya K, Nagao T, Kamisawa T, Tsuchida A.	EUS elastography combined with the strain ratio of tissue elasticity for diagnosis of solid pancreatic masses.	J Gastroenterol.	Jun;46(6)	843-53	2011
Sofuni A, Moriyasu F, Sano T, Yamada K, Itokawa F, Tsuchiya T, Tsuji S, Kurihara T, Ishii K, Itoi T.	The current potential of high-intensity focused ultrasound for pancreatic carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	May;18(3)	295-303	2011
森安 史典	最新 超音波診断データブック：肝の造影超音波検査	臨床画像	27(4)	160-165	2011
平良淳一、今井康晴、森安史典	領域別超音波エラストグラフィの臨床応用 上腹部領域：腹部超音波エラストグラフィの臨床応用	INNERVISION	26(8)	62-64	2011
河合 隆、福澤麻理、杉本弥子、羽山弘毅、野中雅也、山本 圭、青木貴哉、八木健二、福澤誠克、片岡幹統、川上浩平、酒井義浩、森安史典、高木 融、青木達哉	細径スコープを使いこなすー2011: [上部消化管:診断] 経口内視鏡も細径化によって変わったか	消化器内視鏡	23(6)	1018-1023	2011
今井康晴、森安史典	肝癌の診療 Up to date: 肝癌に対する造影超音波	外科治療	105(5)	435-442	2011
今井康晴、祖父尼 淳、森安史典	先進技術で極める著音波の未来 インターベンションを極める：肝超音波ガイド下肝穿刺によるインターベンション	INNERVISION	26(12)	53-55	2011
森安 史典	最新 超音波診断データブック：肝の造影超音波検査	臨床画像	27(4)	160-165	2011
平良淳一、今井康晴、森安史典	領域別超音波エラストグラフィの臨床応用 上腹部領域：腹部超音波エラストグラフィの臨床応用	INNERVISION	26(8)	62-64	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
河合 隆、福澤麻理、杉本弥子、羽山弘毅、野中雅也、山本 圭、青木貴哉、八木健二、福澤誠克、片岡幹統、川上浩平、酒井義浩、森安史典、高木 融、青木達哉	細径スコープを使いこなすー2011: [上部消化管:診断] 経口内視鏡も細径化によって変わったか	消化器内視鏡	23(6)	1018-1023	2011
今井康晴、 <u>森安史典</u>	肝癌の診療Up to date: 肝癌に対する造影超音波	外科治療	105(5)	435-442	2011
今井康晴、祖父尼淳、 <u>森安史典</u>	先進技術で極める著音波の未来 インターベンションを極める: 肝超音波ガイド下肝穿刺によるインターベンション	INNERVISION	26(12)	53-55	2011
赤星朋比古、富川盛雅、川中博文、前原喜彦、 <u>橋爪 誠</u>	門脈圧亢進症患者に対する腹腔鏡下脾臓摘出術	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17(1)	56-62	2011
<u>橋爪 誠</u>	脾臓摘出術	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17(4)	169-173	2011
Ishizaki Y, <u>Kawasaki S</u> , Yoshimoto J, Sugo H, Fujiwara N, Imamura H	Left lobe adult-to-adult living donor liver transplantation: Should portal inflow modulation be added?	Liver Transpl (Epub ahead)			2011
<u>川崎誠治</u> 、石崎陽一	脳死肝移植の現状と展望	日本消化器病学会誌	107	717-22	2011
<u>川崎誠治</u> 、石崎陽一	左葉グラフトを用いた成人生体肝移植レシピエント手術	手術	65	1427-34	2011
Eguchi H, Iwaki K, Shibata K, Ogawa T, Ohta M, <u>Kitano S</u>	Protease-activated receptor-2 regulates cyclooxygenase-2 expression in human bile duct cancer via the pathways of mitogen-activated protein kinases and nuclear factor kappa B.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	18(2)	147-153	2011
Masuda T, Iwashita Y, Hagiwara S, Ohta M, Inomata M, Noguchi T, <u>Kitano S</u>	Dihydrolipoyl histidinate zinc complex, a new antioxidant, attenuates hepatic ischemia-reperfusion injury in rats.	J Gastroenterol Hepatol	26(11)	1652-1658	2011
Hirashita T, Ohta M, Kai S, Masuda T, Eguchi H, Iwashita Y, Ogawa T, <u>Kitano S</u>	Implications of portal vein thrombosis after splenectomy for patients with idiopathic portal hypertension.	Surg Today	41(11)	1475-1480	2011
<u>北野正剛</u> 、太田正之	技術認定制度検討委員会設置にあたって	日門亢症会誌	17(4)	135-136	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akahoshi T, Tomikawa M, Kamori M, Tsutsumi N, Nagao Y, Hashizume M, <u>Maehara Y.</u>	Impact of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration on management of isolated fundal gastric variceal bleeding.	Hepatol Res. 2011 Dec 19. [Epub ahead of print]			2011
Yoshida D, Akahoshi T, Kawanaka H, Yamaguchi S, Kinjo N, Taketomi A, Tomikawa M, Shirabe K, <u>Maehara Y.</u> , Hashizume M.	Roles of vascular endothelial growth factor and endothelial nitric oxide synthase during revascularization and regeneration after partial hepatectomy in a rat model.	Surg Today.	41	1622-9	2011
Yoshida D, Nagao Y, Tomikawa M, Kawanaka H, Akahoshi T, Kinjo N, Uehara H, Hashimoto N, Hashizume M, <u>Maehara Y.</u>	Predictive factors for platelet count after laparoscopic splenectomy in cirrhotic patients.	Hepatol Int. 2011 Sep 30. [Epub ahead of print]			2011
Akahoshi T, Tomikawa M, Kawanaka H, Furusyo N, Kinjo N, Tsutsumi N, Nagao Y, Hayashi J, Hashizume M, <u>Maehara Y.</u>	Laparoscopic splenectomy with IFN therapy in one hundred HCV-cirrhotic patients with hypersplenism and thrombocytopenia.	J Gastroenterol Hepatol. 2011 Jul 28. doi: 10.1111/j.1440-1746.2011.06870.x. [Epub ahead of print]			2011
Nagao Y, Akahoshi T, Kamori M, Uehara H, Hashimoto N, Kinjo N, Shirabe K, Taketomi A, Tomikawa M, Hashizume M, <u>Maehara Y.</u>	Liver regeneration is promoted by increasing serotonin content in rat liver with secondary biliary cirrhosis.	Hepatol Res.	41	784-94	2011
Hashimoto N, Shimoda S, Kawanaka H, Tsuneyama K, Uehara H, Akahoshi T, Kinjo N, Taketomi A, Shirabe K, Akashi K, Lleo A, Ansari AA, Gershwin ME, <u>Maehara Y.</u>	Modulation of CD4 ⁺ T cell responses following splenectomy in hepatitis C virus-related liver cirrhosis.	Clin Exp Immunol.	165	243-50	2011
赤星朋比古、富川盛雅、川中博文、 <u>前原喜彦</u> 、橋爪 誠	門脈圧亢進症患者に対する腹腔鏡下脾臓摘出術	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17	56-62	2011
赤星朋比古、橋本直隆、家守雄大、長尾吉泰、富川盛雅、 <u>前原喜彦</u> 、橋爪 誠	食道・胃静脈瘤に対する内視鏡治療の現状	臨床外科	66	1638-43	2011
Uozumi S, <u>Baba T.</u> , Imawari M.	Clinical outcomes and prognostic factors associated with survival after balloon-occluded retrograde transvenous obliteration of gastric varices.	Showa Univ J Med	23	88-89	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
魚住祥二郎、馬場俊之、 本田 実、清野哲孝、 橋本東児、後閑武彦、 井廻道夫	3本のバルーンカテ テルを使用しバルーン 下逆行性経静脈の塞栓 術を行った猪瀬型肝性 脳症の1例	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17	31-16	2011
Yamakawa Y, Shimada H, Ataka S, Tamura A, Masaki H, Naka H, Tsutada T, Nakanishi A, <u>Shiomi S</u> , Watanabe Y, Miki T.	Two cases of dementias with motor neuron disease evaluated by Pittsburgh compound B-positron emission tomography.	Neurol Sci.		[Epub ahead of print]	2011 Feb 5.
Shimada A, Hashimoto H, Kawabe J, Higashiyama S, Kai T, Kataoka K, Tagawa R, Kawarada Y, Nakanishi A, Inoue K, <u>Shiomi S</u> , Kiriike N.	Evaluation of therapeutic response to donepezil by positron emission tomography.	Osaka City Med J.	57(1)	11-9	2011
Kubota K, Murakami K, Inoue T, Saga T, <u>Shiomi S</u> .	Clinical applications of positron emission tomography in hepatic tumors.	Hepatol Res.	41(7)	611-7	2011
Kubota K, Murakami K, Inoue T, Saga T, <u>Shiomi S</u> .	Additional effects of FDG-PET to thin- section CT for the differential diagnosis of lung nodules: a Japanese multicenter clinical study.	Ann Nucl Med.	25(10)	787-795	2011
Kubota K, Murakami K, Inoue T, Itoh H, Saga T, <u>Shiomi S</u> , Hatazawa J.	Additional value of FDG-PET to contrast enhanced-computed tomography (CT) for the diagnosis of mediastinal lymph node metastasis in non-small cell lung cancer: a Japanese multicenter clinical study.	Ann Nucl Med.	25 (10)	777-786	2011
塩見 進、小谷晃平、 川村悦史、東山滋明、 河邊讓治、田中弘教	肝細胞癌の化学療法の 治療効果判定 PETによ る治療効果判定	肝胆膵画像	13巻6号	633-637	2011
宮田敏行、川崎富夫、 坂田洋一、村田 満、 小嶋哲人	日本人の血栓性素因 特にプロテイン S 欠損 症を中心に	日本産婦人科・新生児血液 学会誌	20(2)	75-82	2011
鈴木敦夫、 <u>小嶋哲人</u>	プロテイン S 異常症・欠 損症の遺伝子解析	臨床検査	55(4)	347-355	2011
<u>小嶋 哲人</u>	抗 Xa 薬	カレントセラピー	29(6)	512-516	2011
菅原宏丈、鈴木宗三、 惣宇利正善、 <u>小嶋哲人</u> 、 一瀬白帝	東北地方に置ける血友 病インヒビター調査の まとめ	山形医学	29(2)	37-44	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>小嶋 哲人</u>	経口トロンピン阻害薬では、なぜ頭蓋内出血の頻度が少ないのかー基礎の立場からー	日本心電学会誌	31(3)	287-291	2011
<u>小嶋 哲人</u>	基礎の立場からみた新規抗凝固薬	日本血栓止血学会誌	22(4)	151-155	2011
<u>小嶋 哲人</u>	新規抗凝固薬	脈管学	51(3)	315-320	2011
<u>小嶋 哲人</u>	血栓性素因の病因と病態	臨床血液	52(10)	1454-1460	2011
鈴木敦夫、 <u>小嶋哲人</u>	エストロゲンによる Protein S 産生抑制	日本血栓止血学会誌	22(5)	285-288	2011
Miyata T, Hamasaki N, Wada H, <u>Kojima T</u>	Venous thromboembolism and a race-specific genetic variation, protein S K196E, in Japanese.	J Thromb Haemost.		[Epub ahead of print].	2011
Saito H, Matsushita <u>Kojima T</u>	Historical perspective and future direction of coagulation research.	J Thromb Haemost.	Suppl 1:	352-363,	2011
Iwaki T, Tanaka A, Miyawaki Y, Suzuki A, Kobayashi T, Takamatsu J, Matsushita T, Umemura K, Urano T, <u>Kojima T</u> , Terao T, Kanayama N	Life-threatening hemorrhage and prolonged wound healing are remarkable phenotypes manifested by complete plasminogen activator inhibitor-1 deficiency in humans.	J Thromb Haemost.	9(6)	1200-1206	2011
Ikesue M, Matsui Y, Ohta D, Danzaki K, Ito K, Kanayama M, Kurotaki D, Morimoto J, <u>Kojima T</u> , Tsutsui H, Uede T	Syndecan-4 deficiency limits neointimal formation after vascular injury by regulating vascular smooth muscle cell proliferation and vascular progenitor cell mobilization.	Arterioscler Thromb Vasc Biol.	31(5)	1066-1074,	2011
Matsui Y, Ikesue M, Danzaki K, Morimoto J, Sato M, Tanaka S, <u>Kojima T</u> , Tsutsui H, Uede T	Syndecan-4 prevents cardiac rupture and dysfunction after myocardial infarction.	Circ Res.	108(11)	1328-1339	2011
Katsumi A, Nishida T, Murata M, Terakura S, Shimada K, Saito S, Kobayashi M, Kodaira A, Shibata S, Oda I, Yagi T, Kiyoi H, Matsushita T, <u>Kojima T</u> , Naoe T	Virus-associated hemophagocytic syndrome caused by pandemic swine-origin influenza A (H1N1) in a patient after unrelated bone marrow transplantation.	J Clin Exp Hematop.	51(1)	63-65	2011
<u>國吉 幸男</u>	Budd-Chiari 症候群の病態と治療方針	臨床外科	9	1190-5	2011
Fujimoto K, Tonan T, Azuma S, <u>Kage M</u> , Nakashima O, Johkoh T, Hayabuchi N, Okuda K, Kawaguchi T, Sata M, Qayyum A.	Evaluation of the Mean and Entropy of Apparent Diffusion Coefficient Values in Chronic Hepatitis C: Correlation with Pathologic Fibrosis Stage and Inflammatory Activity Grade.	Radiology	258(3)	739-748	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tonan T, Fujimoto K, Qayyum A, Morita Y, Nakashima O, Ono N, Kawahara A, Kage M, Hayabuchi N, Ueno T.	CD14 expression and Kupffer cell dysfunction in nonalcoholic steatohepatitis: SPIO-MRI and pathologic correlation.	Journal of gastroenterology and hepatology		in press	2011
中島 収、谷川 健、秋葉 純、小笠原幸子、鹿毛政義、神代正道、安永昌史、奥田康司、木下壽文、黒松亮子、田中正敏、佐田通夫、隈部 力、矢野博久	【早期肝細胞癌：病理と画像のinterplay】早期肝細胞癌（肝癌）と前癌病変の病理	肝臓	52(7)	406-414	2011
Kobayashi A, Mizumoto H, Ando T, Matsutani S	Portal vein thrombosis associated with ischemic colitis	Clinical Journal of Gastroenterology	4	147-150	2011
松谷正一、福沢 健、水本英明	肝血流	臨床画像	27	154-159	2011
松谷正一、小林照宗、水本英明	門脈血栓症の薬物治療	臨床消化器内科	27	231-236	2012
Takatsuki M, Eguchi S, Yamanouchi K, Hidaka M, Soyama A, Kanematsu T.	Technical refinements of bile duct division in living donor liver surgery.	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	18(2)	170-175	2011
Eguchi S, Soyama A, Mergental H, AP.van den Berg, R Scheenstra, RJ Porte, MJH Slooff.	Honoring the contract with our patients: outcome after repeated re- transplantation of the liver.	Clin Transplant.	25(2)	E 211-218	2011
Eguchi S, Kanematsu T, Aii S, Omata M, Kudo M, Sakamoto M, Takayasu K, Makuuchi M, Matsuyama Y, Monden M ; for the Liver Cancer Study Group of Japan.	Recurrence-free survival more than 10 years after liver resection for hepatocellular carcinoma.	Br J Surg	98(4)	552-557	2011
Eguchi S, Takatsuki M, Hidaka M, Soyama A, Ichikawa T, Kanematsu T.	Perioperative synbiotic treatment to prevent infectious complications in patients after elective living donor liver transplantation: a prospective randomized study.	Am J Surg	201(4)	498-502	2011
Eguchi S, Soyama A, Hidaka M, Takatsuki M, Muraoka I, Tomonaga T, Kanematsu T.	Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus coinfection with special reference to hemophiliac recipients in Japan.	Surg Today	41(10)	1325-31	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Soyama A, Eguchi S, Yanaga K, Takatsuki M, Hidaka M, Kanematsu T.	Living donor liver transplantation with extensive caval thrombectomy for acute-on-chronic Budd-Chiari syndrome.	Surg Today	41(7)	1026-1028	2011
Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Muraoka I, Kanematsu T.	Is Preservation of Middle Hepatic Vein Tributaries during Right Hemi-Hepatectomy Beneficial for Live Donor Liver Transplantation?	Hepatogastroenterology.	59	115-116	2011
Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Tomonaga T, Muraoka I, Kanematsu T.	Elective living donor liver transplantation by hybrid hand-assisted laparoscopic surgery and short upper midline laparotomy.	Surgery	150(5)	1002-1005	2011
西田聖剛、江口 晋、曾山明彦、日高匡章、高槻光寿、高橋正浩、Andreas G.Tzakis、兼松隆之	マイアミ大学での HIV 陽性患者に対する肝移植	The journal of AIDS research	13	137-144	
江口 晋、高槻光寿、曾山明彦、村岡いづみ、原 貴信、兼松隆之	後天性免疫不全症候群 (AIDS)	外科	73(12)	1282-1287	2011
Mizuguchi Y, Mishima T, Yokomuro S, Arima Y, Kawahigashi Y, Shigehara K, Kanda T, Yoshida H, Uchida E, Tajiri T, Takizawa T.	Sequencing and Bioinformatics-Based Analyses of the microRNA Transcriptome in Hepatitis B-Related Hepatocellular Carcinoma.	PLoS One	6	E15304	2011
Ueda J, Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Mineta S, Yoshioka M, Hirakata A, Kawano Y, Kanda T, Uchida E.	Resection of hepatocellular carcinoma recurring in the diaphragm after right hepatic lobectomy.	J Nippon Med Sch	78	30-33	2011
Uetama T, Yoshida H, Hirakata A, Yokoyama T, Maruyama H, Suzuki S, Matsutani T, Matsushita A, Sasajima K, Uchida E.	A symptomatic giant hepatic hemangioma treated by hepatectomy.	J Nippon Med Sch	78	34-39	2011
Kaneya Y, Yoshida H, Matsutani T, Hirakata A, Matsushita A, Suzuki S, Yokoyama T, Maruyama H, Sasajima K, Uchida E.	Biliary obstruction due to a huge simple hepatic cyst treated by laparoscopic resection.	J Nippon Med Sch	78	105-109	2011
Ueda J, Yoshida H, Mamada Y, Taniai N, Mineta S, Yoshioka M, Kawano Y, Narita K, Naito Z, Uchida E.	A case of xanthogranulomatous cholecystitis preoperatively diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography.	J Nippon Med Sch	78	194-198	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shigehara K, Yokomuro S, Ishibashi O, Arima Y, Mizuguchi Y, Kawahigashi Y, Kanda T, Akagi I, Tajiri T, <u>Yoshida H</u> , Uchida E, Takizawa T.	Real-time PCR-based microRNAome of human bile detects miR-9 as a potential diagnostic biomarker for biliary tract cancer.	PLoS One.	6	E23584	2011
Harada J, Yoshida H, Ueda J, Mamada Y, Taniai N, Mineta S, <u>Yoshida H</u> , Kawano Y, Shioda Y, Uchida E.	Malignant hepatic epithelioid hemangioendothelioma with abdominal pain due to rapid progression.	J Nippon Med Sch	78	246-251	2011
Kawano Y, <u>Yoshida H</u> , Mamada Y, Taniai N, Katsuta Y, Uchida E.	Intracystic hemorrhage from one of multiple hepatic cysts.	J Nippon Med Sch	78	312-316	2011
Tani A, <u>Yoshida H</u> , Mamada Y, Taniai N, Mineta S, Yoshioka M, Kawano Y, Ueda J, Naito Z, Uchida E.	Hepatic angiomyolipoma with a giant hemangioma.	J Nippon Med Sch	78	317-321	2011
Maruyama H, <u>Yoshida H</u> , Hirakata A, Matsutani T, Yokoyama T, Suzuki S, Matsushita A, Sasajima K, Kikuchi Y, Uchida E.	Surgical treatment of a patient with diaphragmatic invasion by a ruptured hepatocellular carcinoma with biliary and portal venous tumor thrombi.	J Nippon Med Sch			in press
Yokoyama T, <u>Yoshida H</u> , Hirakata A, Makino H, Maruyama H, Suzuki S, Matsutani T, Hayakawa T, Hosone M, Uchida E.	Spontaneous complete necrosis of advanced hepatocellular carcinoma.	J Nippon Med Sch			in press
Ueda J, <u>Yoshida H</u> , Mamada Y, Taniai N, Yoshioka M, Mineta S, Kawano Y, Shimizu T, Hara E, Kawamoto C, Kaneko K, Uchida E.	Surgical Resection of a Solitary Para-aortic Lymph Node Metastasis from Hepatocellular Carcinoma.	World J Gastroenterol			in press
<u>Yoshida H</u> , Mamada Y, Taniai N, Yoshioka M, Hirakata A, Kawano Y, Mizuguchi Y, Shimizu T, Ueda J, Uchida E.	Treatment modalities for bleeding esophagogastric varices.	J Nippon Med Sch			in press
Uemura, M. Fujimura, Y. Ko, S. Matsumoto, M. Nakajima, Y. <u>Fukui, H.</u>	Determination of ADAMTS13 and Its Clinical Significance for ADAMTS13 Supplementation Therapy to Improve the Survival of Patients with Decompensated Liver Cirrhosis	Int J Hepatol (電子出版)	2011	1-12	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shirai Y, Yoshiji H, Ko S, Yamazaki M, Ikenaka Y, Noguchi R, Morioka C, Kaji K, Aihara Y, Nakanishi K, Yamao J, Toyohara M, Mitoro A, Sawai M, Yoshida M, Fujimoto M, Uemura M, Nakajima Y, <u>Fukui H.</u>	Salvage living donor liver transplantation after percutaneous transluminal angioplasty for recurrent Budd-Chiari syndrome: a case report.	J Med Case Reports	5(1)	124	2011
Yoshiji H, Kitagawa K, Noguchi R, Uemura M, Ikenaka Y, Aihara Y, Nakanishi K, Shirai Y, Morioka C, <u>Fukui H.</u>	A histologically proven case of progressive liver sarcoidosis with variceal rupture.	World J Hepatol	3(10)	271-274	2011
上嶋昌和、松村雅彦、小島邦行、梅本典江、瓦谷英人、 <u>福井 博</u>	孤立性胃静脈瘤に対する予防的治療の適応基準—経過観察例による検討—	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17(4)	145-147	2011
Kaji K, Yoshiji H, Kitade M, Ikenaka Y, Noguchi R, Shirai Y, Aihara Y, Namisaki T, Yoshii J, Yanase K, Tsujimoto T, Kawaratani H, <u>Fukui H.</u>	Combination treatment of angiotensin II type I receptor blocker and new oral iron chelator attenuates progression of nonalcoholic steatohepatitis in rats.	Am J Physiol Gastrointest Liver, Physiol	300 (6)	G1094-1104	2011
Kawaratani H, Tsujimoto T, Kitazawa T, Yoshiji H, Uemura M, <u>Fukui H.</u>	Therapeutic effects of cytokine modulator Y-40138 in the rat alcoholic liver disease model.	J Gastroenterol Hepatol	26(4)	775-83	2011
Yoshiji H, Noguchi R, Ikenaka Y, Kaji K, Aihara Y, <u>Fukui H.</u>	Impact of renin-angiotensin system in hepatocellular carcinoma.	Curr Cancer Drug Targets	11(4)	431-41	2011
Yoshiji H, Noguchi R, Ikenaka Y, Kaji K, Aihara Y, Yamazaki M, Yamao J, Toyohara M, Mitoro A, Sawai M, Yoshida M, Morioka C, Fujimoto M, Uemura M, <u>Fukui H.</u>	Combination of branched-chain amino acids and angiotensin-converting enzyme inhibitor suppresses the cumulative recurrence of hepato-cellular carcinoma: a randomized control trial.	Oncol Rep	26(6)	1547-53	2011
<u>藤本正男、植村正人、福井 博</u>	当科におけるC型慢性肝炎に対するIFN療法施行症例の高齢化の現状と、1b型高ウイルス量症例におけるPeg-IFN/RBN療法の治療成績	日本高齢消化器病学会誌	13(2)	108-114	2011
<u>小原 勝敏</u>	食道静脈瘤に対する内視鏡治療 (EIS/EVL)	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17	43-51	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Suzuki R, Irisawa A, Manoop BS, Takagi T, Ikeda T, Hikichi T, Shibukawa G, Sato M, Watanabe K, Nakamura J, <u>Obara K</u> , Ohira H.	Ultrathin endoscope-guided transgastric nasocystic irrigation tube placement to manage paracolic gutter extension of pancreatic necrosis.	Gastrointest Endosc		Epub ahead of print	2011
<u>小原 勝敏</u>	知っておきたい消化管疾患の知識—食道・胃静脈瘤	Nikkei Medical	5月号特別編集版	30-33	2011
Shuzo Sato, Atsushi Irisawa, Ai Saito, Goro Shibukawa, Rei Suzuki, Tadayuki Takagi, Tsunehiko Ikeda, Takuto Hikichi, <u>Katsutoshi Obara</u> , Hiromasa Ohira	Autoimmune Neutropenia Associated with Autoimmune Pancreatitis	J Pancreas (Online)	12(4)	407-409	2011
<u>小原 勝敏</u>	達人の技—上部消化管、静脈瘤出血におけるEISとEVL	消化器内視鏡	23(1)	108-114	2011
Wakatsuki T, Irisawa A, Terashima M, Shibukawa G, Takagi T, Imamura H, Takahashi Y, Sato A, Sato M, Ikeda T, Suzuki R, Hikichi T, <u>Obara K</u> , Ohira H	ATP assay-guided chemosensitivity testing for gemcitabine with biopsy specimens obtained from unresectable pancreatic cancer using endoscopic ultrasonography-guided fine-needle aspiration	Int J Clin Oncol	16(4)	387-394	2011
Suzuki R, Hikichi T, Sato M, Takagi T, Ikeda T, Watanabe K, Nakamura J, Irisawa A, <u>Obara K</u> , Ohira H	Prospective randomized comparative study of hemodynamic changes between ultrathin transnasal and conventional transoral esophagogastroduodenoscopy in percutaneous endoscopic gastrostomy placement with modified introducer method under sedation	Fukushima J Med Sci	57(1)	28-32	2011
高橋敦史、物江恭子、坂本夏美、菅野有紀子、齊藤広信、阿部和道、横川順子、渋谷悟朗、高木忠之、引地拓人、入澤篤志、 <u>小原勝敏</u> 、大平弘正	原発性胆汁性肝硬変症における食道・胃静脈瘤の検討	日本門脈圧亢進症学会雑誌	17(1)	1-5	2011
入澤篤志、渋谷悟朗、高木忠之、池田恒彦、鈴木 玲、阿部洋子、二階堂暁子、引地拓人、 <u>小原勝敏</u> 、大平弘正	EUS-FNAのための超音波内視鏡の標準的走査術	消化器内視鏡	23(8)	1303-1310	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
入澤篤志、渋川悟朗、引地拓人、高木忠之、池田恒彦、鈴木 玲、阿部洋子、二階堂暁子、小原勝敏、大平弘正	コンベックス式 EUS による胆膵系走査法	胆と膵	32(8)	719-723	2011
引地拓人、入澤篤志、佐藤匡記、渡辺 晃、中村 純、鈴木 玲、池田恒彦、高木忠之、大平弘正、小原勝敏	消化管におけるアスピリンの副作用 低用量アスピリンによる上部消化管粘膜傷害に対し H. pylori 除菌療法を行うべきか?	消化器の臨床	14(2)	183-186	2011
入澤篤志、高木忠之、渋川悟朗、佐藤 愛、池田恒彦、鈴木 玲、引地拓人、佐藤匡記、渡辺 晃、中村 純、阿部洋子、二階堂暁子、宍戸昌一郎、飯塚美伸、鈴木啓二、小原勝敏、大平弘正	慢性膵炎診断における超音波内視鏡の役割—特に早期慢性膵炎診断について	膵臓	26(1)	29-36	2011
入澤篤志、引地拓人、高木忠之、渋川悟朗、小原勝敏、大平弘正	Interventional EUS の現況と未来	臨床消化器内科	26(3)	333-342	2011
板橋正子、引地拓人、水野順子、山田ゆき江、仲島ゆみ子、加藤未加、齋藤ゆり、佐藤美智子、目黒文子、小原勝敏	内視鏡室の感染対策—マルチソサイエティガイドラインの解説と福島県立医科大学附属病院内視鏡診療部の現状—	福島医学雑誌	61(1)	24-33	2011
水野順子、引地拓人、板橋正子、中條麻理、山田ゆき江、仲島ゆみ子、佐藤利枝子、加藤未加、齋藤ゆり、佐藤美智子、富樫恭子、目黒文子、高木忠之、小原勝敏	上部消化管内視鏡検査の咽頭麻酔におけるリドカインビスカスとリドカインスプレーの麻酔効果と麻酔苦痛度の比較検討—	福島医学雑誌	61(1)	12-17	2011
K Miyamoto, M Iwadate, Y Yanagisawa, E Ito, J Imai, M Yamamoto, N Sawada, M Saito, S Suzuki, I Nakamura, S Ohki, Z Saze, M Kogure, M Goto, K Obara, H Ohira, K Tasaki, M Abe, N Goshima, S Watanabe, S Waguri, and S Takenosita	Cathepsin L is highly expressed in gastrointestinal stromal tumors.	International Journal of Oncology	39	1109-1115	2011
入澤篤志、渋川悟朗、高木忠之、佐藤 愛、池田恒彦、鈴木 玲、阿部洋子、二階堂暁子、小原勝敏、大平弘正	早期慢性膵炎の画像	肝胆膵画像	13(7)	704-709	2011